

松阪市子ども支援研究センターだより

E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」TEL 26-1900 FAX 26-1901 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp
松阪教育支援センター「うれしの教室」TEL 42-7374 FAX 42-4568 E-mail: uresino-k@matsusaka.ed.jp

夏も研修講座で自分磨きを!



当センターの研修講座にたくさんのお申し込みをいただきありがとうございます。

お申し込みをいただいた研修講座につきまして、受講の可否を各園・校宛に送付させていただきます。それぞれご確認ください、受講していただきますようお願いいたします。

※ まだ申し込みをされていない方、追加で申し込みを希望される方の申し込みをお待ちしております。各講座の3日前まで受け付けておりますので、電話やセンターHPで受付状況をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

707エッセショナルな指導をぜひ実践に!



講座には、各分野でご活躍されている先生方をお招きしています。体育や図画工作など実技を通した講座は、実際の指導に触れるまたとない機会です。そして、教科書の著作者である先生の講座は、新しい気づきと実践の再確認の場になると思います。ぜひ、受講をお薦めします!

★8月18日(火) 9:30~12:00 会場 子ども支援研究センター体育室
A-7 体育/保健体育

「協同的な学びを育む表現運動・ダンスの授業づくり」

柳瀬 慶子先生 高田短期大学講師

昨年に引き続き、表現運動・ダンスの授業づくりの講義をしていただきます。ペアでの運動・集団での運動を中心にどのように協同的な学びをつくりあげていくのか、そのヒントがちりばめられた実技を通した講義です。9月からの体育の授業づくりにぜひ役立ててください。持ち物として、運動のできる服装、体育館シューズ、水分、タオルをご持参ください。

★8月25日(火) 14:00~16:30 会場 嬉野公民館大会議室
A-2 社会 「子どもが本気で学ぶ社会科の授業づくり」

安野 功先生 國學院大學人間開発学部教授

埼玉県浦和市(現さいたま市)において小学校教諭として赴任。その後、文部省初等中等教育局 教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官、『初等教育資料』(文部科学省教育課程課・幼児教育課編集)編集長等を歴任される。松阪市の小学校で採用している社会科教科書の著作者。平成25年には、「小学社会/授業で使える全単元・全時間の学習カード」(3・4年、5年、6年)を編集されるなど精力的にご活躍されています。

★8月28日(金) 14:00~16:30 会場 嬉野社会福祉センター集會室

A-6 図画工作/美術

「図工工作科の授業づくり

～子どもの表現のとらえ方と教師の支援に焦点をあてて～

竹井 史先生 愛知教育大学教授

松阪市の小学校で採用している図画工作科教科書の著作者。今回は、絵画に焦点を当てた授業づくりを講義していただきます。持ち物として、ハサミ、のり、絵の具セットをご持参ください。材料費 100 円程度がかかりますが、作品を持ち帰っていただけます。竹井先生は、図画や幼児の造形・遊びでも研修講座の講師をされてみえます。著書は「学校・地域が元気になる アートによるコミュニティ活動の実践」「リサイクルおもちゃ」「楽しくできる小学校図工科 鑑賞の授業」など。

受講者への FAX は、準備物や駐車場など連絡したいことがある講座のみ送付しております。FAX 送付のない講座もありますのでご了承ください。

なお、準備の都合上、キャンセルや欠席はできるだけ早くご連絡いただきますようお願いいたします。

お知らせ ～ 社会科副読本編集委員会より ～

ホームページ版社会科副読本「わたしたちの松阪市」では、昨年度、7章「わたしたちの住んでいる県」が完成し、ますます充実した内容となっています。今年度は、4月から松阪市クリーンセンターが稼働し始めたことに伴い、それに関連する4章の「1 くらしとごみ」のページの更新に向け、今準備を進めているところです。そのほかのページも、より見やすく使いやすいものにするために、社会科副読本編集委員会の委員が取材活動をしたり、協議、検討したりして掲載されている写真やデータを最新のものに更新していきます。

先日、ある小学校6年生の担任の先生から「社会科、総合的な学習の時間に『わたしたちの松阪市』を活用して学習しました。」、中学校の先生からは、「まだ授業で使ったことはないけれど、今後郷土の偉人に学ぶ学習で、ぜひ使ってみたいです。」という声を聞きました。

ホームページ版社会科副読本「わたしたちの松阪市」には、さまざまな用途に使える白地図や郷土の偉人に関する動画へリンクするページもあり、これらは、あらゆる学年のさまざまな学習に活用できるものとなっています。今後ともぜひご活用くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※「わたしたちの松阪市」ホームページアドレス (<http://fukudokuhon.jp/>)



教育関係書籍について



今年度も教育関係書籍の購入をしています。ホームページに掲載していますのでご確認ください。また、ご希望の書籍がありましたら、電話やFAX、メールなどで『子ども支援研究センター』までお知らせください。

現在ある書籍の貸し出しもしております。1回の貸し出し期間は2週間です。当センターホームページ「蔵書案内」を参考にして、お問い合わせください。